

10/11、10/25 “みんなの遊び場ボールパーク”開催についての報告書

木曽地区野球協会
高校代表 森 大樹

1 概要

前身となる木曽野球会議の頃から行っているイベントが現在行っているイベントであり、2021年から始めていたため、今回で5年目の開催となります。

今年度は10月上旬に日義グラウンドと体育館、10月下旬は大桑村村民体育館で大桑村のイベントとなる森里の秋まつりに参入する形で2度開催しました。両日合わせて延べ240名以上の1歳から11歳のお子様が参加したイベントとなりました。

野球をやってほしいということはもちろんありますが、一番は遊び場の少ない木曽地域の子どもたちに“場”的提供ができればと考えたことから始まったイベントです。

2 内容

① 10月11日（土）

日義グラウンドと体育館両方を使い、参加したお子様にはシールラリー用シートを用意し、7ブースでボール等を使ったアトラクションなどを用意し、体育館2階には地元の飲食の移動販売を行っている方々にもご協力いただき、おにぎりや駄菓子等の手軽に食べられるものも今年度は承諾いただけたことで、より活発なイベントとなりました。

また、例年通り野球の道具を知っていただくために、スポーツ店に依頼し移動販売を行っていただき、抽選で当たる野球道具までもご提供していただきました。

他にもシールを全て集めた方にははずれなしの抽選くじを用意し、楽しかったと言っていただける園児、児童が非常に多く、イベント後には地域の学童チームに加入したいという方まででてくるようになりました。



② 10月25日(土)森の里の秋まつりに参入

今年度は森の里の秋まつりに参入という形で初の大桑村の体育館をお借りして行った、10月に行ったイベントより対象年齢が高く、野球をしていない小学生がイベントに来場した児童に声掛けをしてイベントに参加してくださった。やり方に関して、例年通りシールラリー用シートを用意し、5ブース全て回ると景品がもらえる方式で行いました。

開催地区が例年と違うことと、他のイベントも一緒に行うことで例年よりも多くの児童が参加してくれました。フリースペースを作ることで、小学生以下の対象となる場所の確保を毎回行っておりますが、大桑開催につきましては、なかなか場所の確保が難しく、対象をどうしても上げざるを得なかった。運営側として小学生がそのまま野球をやってくれればよりありがたいとは思ってはいるが、未満児や未就学児によりボールの扱いや“投げる”“打つ”を行うことで野球というものの敷居を下げる事にも繋がるかなとも思っております。今後も改善内容がいくらでもあげられるため、よりよいイベントにしていければと考えております。



日義・大桑それぞれでいただいたご意見の一部をご紹介いたします。

今回のイベントに対して参加された親御様より下記のような嬉しいご意見をいただきました。

幼い子も楽しめる様々なボール遊びを工夫をしてくださってありがとうございます。野球部の優しいお兄さんお姉さんと触れ合えることも、親子共々嬉しく思っています。おかげ様で娘も野球が好きになっています。素敵な企画に感謝しています。また参加したいです。

子どもが大好きなポケモンが張られた的当てで、喜んでいました。終わったらお昼ご飯が食べられるのも嬉しいです。だるま落としのところにいたお兄さんがとても優しかったです。参加し始めて今年で3年目です。年を追うごとに子どもたちの成長も感じます。毎回楽しい企画をありがとうございます。

小学生、中学生、高校生のみんなが楽しませてくれて、子供達は初めてのバットやキャッチボールを楽しんでいました。的当てゲームをしている姿を見て、こんなふうに投げれるんだ！と我が子を見てびっくりでした。普段の姿では見られなかったり、楽しくボールで遊んでる姿を見て楽しかったです。

緊張している息子と一緒に回ってくださったお姉さんや楽しく遊べるように声掛けをしてくださったお兄さんに感謝した楽しいイベントでした。ありがとうございました。

3 今後について

木曽地域との密接な連携をとることで、野球というスポーツを知るだけでなく、毎年の“遊び場”として地域に浸透してきています。“うちの地域でもやってください”というご意見もいただいき木曽町だけでなく、昨年から上松町でも開催することができるようになりました。このような地域のイベントを通して、この活動が木曽地域の高校野球チームの存続にも大きく繋がっていくものであると考えおります。できる限り継続的にやっていくことが木曽地域のためにも繋がっているため、オフシーズンだけでなく、今年度は木祖村でも小さなイベントを行い、大桑でも今回新たに行いました。遊び場の提供が目的としているため、今後は更に大々的でなくとも広がっていけば野球というスポーツの定着にもつながると考えております。さらに、今年度のように地域の他のイベントとタイアップして、より大きなイベントとなるよう地域の活性化に繋げていければと思っております。

また、10月25日の大桑でのイベントではキッズファーストアクションより提供していただいた、バットやボール等を活用してイベントができました。プラスチックバットよりもより安全にボールがきちんと打てるバットによって、参加した児童たちは非常に喜んでおりました。また、低いコーンのティーは小さい子にとって非常に使いやすいため、今後も継続して使用していきたいと考えております。

景品としてのリストバントも大変好評で新たに楽しめる要素が増やすことができ大変満足しております。

今回少しでもイベントに参加してくださった多くの園児・児童並びに保護者の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

また、他地区からの来場者も若干ではありますが、いらっしゃいますので、よろしければ多くの皆様にご参加いただければ幸いです。

4 参加人数及び協力スタッフ人数

10月11日 10月25日

参加者		参加者		協力団体
参加園児・児童	70	参加園児・児童	90	○長野県野球協会 ○木曽町教育委員会 ○大桑村教育委員会 ○長野県軟式野球連盟木曽支部 ○木曽町体育協会ソフトボール部
参加保護者	60	参加保護者	50	
協力スタッフ		協力スタッフ		
木曽青峰高校	10	木曽青峰高校	7	
オール木曽(少年)	6	オール木曽(少年)	15	
福島クラブ(学童)	20	南木曽野球クラブ(学童)	20	